キャビネットガス配管スペース

⚠ 注 意

■設置場所の確認やガス配管工事・電気配線工事はビルトインコンロの設置工事説明書に従って行う

■ビルトインコンロが100V仕様の場合は、ガス管に電源コードを巻きつかないようにガス配管用の配管シールパッキンに電源コードを通しコンセントへ接続する

確認

お 願 い

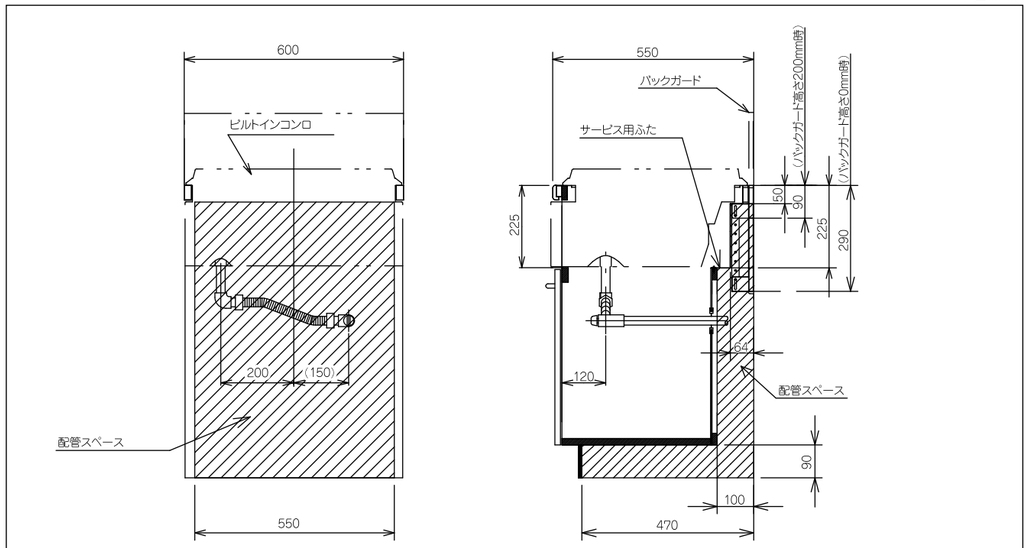
●ガス配管位置に合わせてキャビネットの背板部に直径50mmの配管通し穴をあけ、あけた穴に付属の配管シールパッキン（ゴム製）を取り付けてください。

●ビルトインコンロをドロップイン前にキャビネット裏側の工事を行われる際は、キャビネット背板上部の鉄製サービス用ふた（固定ねじ3本）を取りはずし行うことができます。

●施工時キャビネット底部に工具などを置かないでください。キャビネット庫内底のフッ素コートに傷がつく恐れがあります。

- キャビネット後方・下部のガス配管スペースは下図に示します。
- ビルトインコンロ後方の奥行ガス配管スペースは64mmです。このスペースにて配管工事を行う場合は、バックガードにガス配管の通し穴用の穴あけ加工が必要です。穴あけ加工は、穴あけ専用の工具を使用し行ってください。
- バックガードは不燃材を使用しており割れやすいため加工時は十分注意し行ってください。
- バックガードにガス配管の通し穴用の加工を行った場合は、付属のシールパッキンが使用できない場合が有ります。シール材、アルミテープなどで必ず隙間をふさいでください。
- バックガードの設置高さによるバックガード下端寸法は以下の通りです。
  バックガード設置高さ　0mmの場合：バックガード下端寸法はステンレストップより290mm
  バックガード設置高さ200mmの場合：バックガード下端寸法はステンレストップより 90mm

（単位mm）



製 造 者　リンナイ株式会社

本　　社　〒454-0802　名古屋市中川区福住町2番26号　電話052（361）8211（代）

取扱説明書

Rinnai

ビルトインコンロ組込用キャビネット

RBO-601F1S（水切りカバー無対応用）、RBO-602F1S（水切りカバー有対応用）

○このたびは、リンナイビルトインコンロ組込み用キャビネットをお買い上げいただきまして、ありがとうございます。

○ご使用前にこの取扱説明書（取扱編）とビルトインコンロの取扱説明書をお読みいただき、安全に正しくお使いください。

○設置工事前にこの取扱説明書（工事編）とビルトインコンロの設置工事説明書をお読みいただき、安全に正しく設置工事を行ってください。

○このビルトインコンロ組込用キャビネットは、ビルトインコンロの組込み以外でご使用にならないでください。

○ワークトップやキャビネット庫内底板のビニールシートは保護用です。ご使用前に取り除いてください。

取扱編

安全上のご注意

必ずお守りください。

ここに示した内容には、お使いになる人や他の人への危害と財産への損害を未然に防ぎ、製品を安全に正しくお使いいただくための重要な内容が説明してあります。

●以下に示す内容と意味をよく理解してから本文をお読みください。

⚠注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が障害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

●絵表示には次のような意味があります。

⚠ この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です

⃠ この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です

⚠ 注 意

禁止

■硫酸や塩酸などの酸類やアセトン・ベンジン・ガソリンなどの商品は、絶対にキャビネット内に収納しない

これらの商品は火災の原因になります

ご使用上のご注意

●使い方について

ワークトップはステンレス製でさびにくい性質を持っていますが、使用条件や環境によってはその限りではありません。次のことを特に注意し、ご使用ください。

・鉄粉など付着させたり、鉄製の包丁を長時間放置しないでください。…… もらいさびの原因になります。

・硫酸や塩酸などの酸類や漂白剤は、絶対に使用しないでください。…… ステンレスを傷めます。

お手入れ方法

●キャビネット本体・とびら部

・キャビネットの本体・とびら部表面は、樹脂仕上げをしていますので、やわらかい布に中性洗剤をつけ、汚れを拭き取り、乾いたやわらかい布で拭き取ってください。

・キャビネットの本体・とびら部は、化粧合板製ですので水をこぼしたり、濡らしたりした場合は、そのつどやわらかい布で拭き取ってください。

・キャビネットとびらの着脱・調整方法はP2をご参照ください。

●ステンレス部（ワークトップ部）

・スポンジたわしに中性洗剤をつけ、汚れを拭き取り、乾いたやわらかい布で拭き取ってください。

お願い：クレンザーや酸性・アルカリ性などの入った洗剤、金属たわしなどの固いものは傷をつける原因となりますので使用しないでください。

アフターサービス

●万一、故障した場合、お買い上げの販売店または最寄りの当社にご連絡ください。

●ご依頼される際にはキャビネット内に張ってある銘板を確認いただき次のことをご連絡ください。

1.ご住所･お名前･電話番号　2.型式･お買い上げ日

3.故障内容･状況（できるだけ詳しく）　4.訪問ご希望日

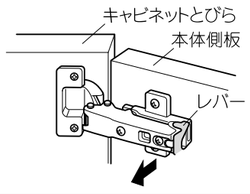
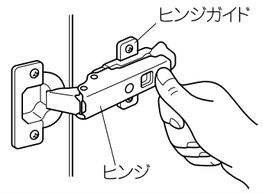
＜銘板＞

型式　○○○−○○○○○○
製番　IW○○○○
リンナイ株式会社

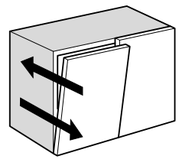
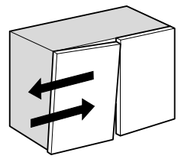
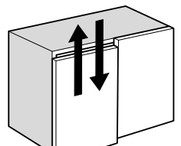
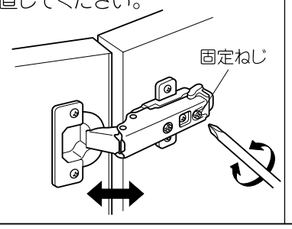
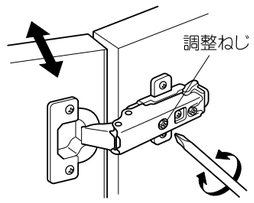
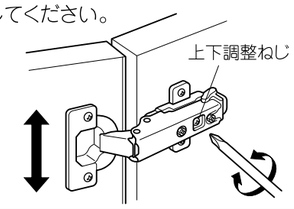
キャビネットとびらの着脱と調整方法

キャビネットとびらはワンタッチ着脱式タイプ仕様です。下図に従ってください。

●とびらの着脱方法

取りはずし方法	取付け方法
本体側板のヒンジ先端部のレバーを手前上方にひき取りはずしてください。 	ヒンジガイドにヒンジの手前を当て込みヒンジの奥側を押してはめ込んでください。 

●とびらの調整方法

とびらの前後調整	とびらの左右調整	とびらの上下調整
		
固定ねじをゆるめて前後調整した後、締め直してください。 	固定ねじを締めたままで、調整ねじを回して左右調整してください。 	とびら上下ヒンジの上下調整ねじをゆるめて上下調整をした後、締め直してください。 

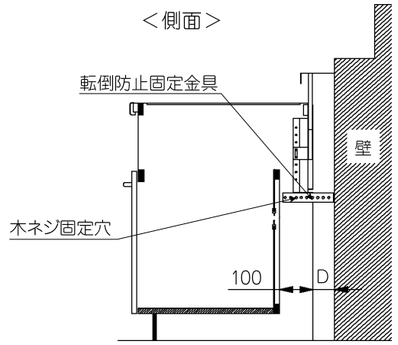
＊既設キャビネットに固定できない場合

付属の転倒防止固定金具（2個）と固定ねじ（2種類、各2本）を使用し、設置するキャビネットの背面壁とキャビネット後部を固定してください。

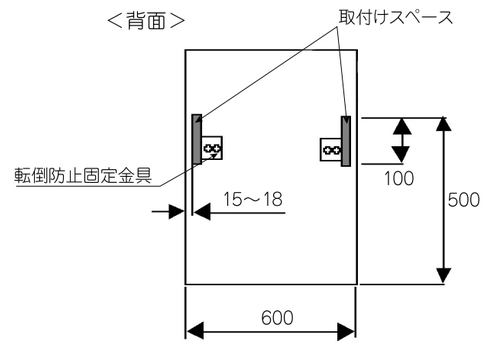
（単位mm）

●取り付け方法

＜側面＞

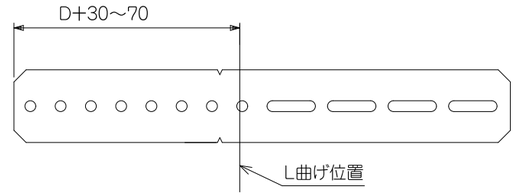


＜背面＞



手順

①転倒防止固定金具の丸穴側の寸法がD+30〜70mmになるようにL曲げをする。（上図＜側面＞、右図参照）



アドバイス　L曲げ位置をモンキースパナではさみ、折り曲げると曲げやすくなります。

②キャビネットの左右位置を決め、上図＜背面＞の範囲内に転倒防止固定金具のL曲げ部が取付けスペース内に収まるように転倒防止固定金具を背面壁に取付ける。

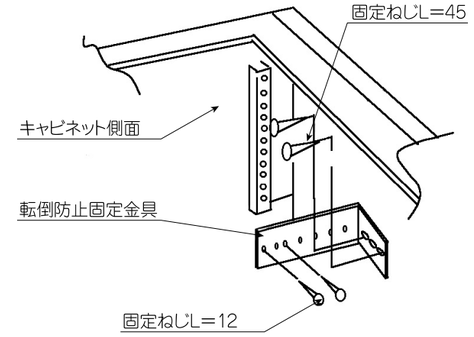
注意

背面壁がコンクリートなどの場合は、コンクリートに直径7〜7.5mm、深さ45mm以上の穴を左右に2個をあけ、付属の樹脂製プラグを打込んだ後、転倒防止固定金具を付属の木ねじ4本（L=45mm）にて背面壁に取付ける。

③キャビネット後部のサービスふたを取りはずす。（P5参照）

④キャビネット内側に背面壁に固定した転倒防止固定金具がのぞむようにキャビネットを設置する。

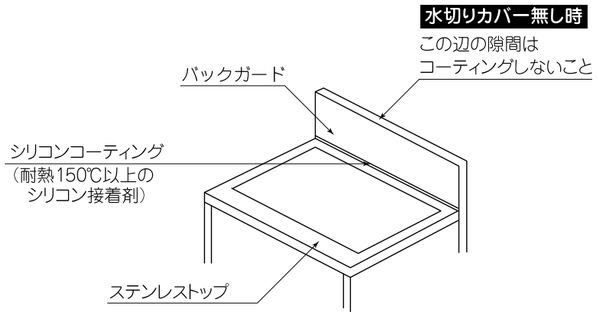
⑤**グリル排気口上部に水切りカバーがかからないようにキャビネットの奥行位置を決め**、キャビネット後部側板と転倒防止固定金具を木ねじ4本（L=12 mm）にて固定する。



⑤バックガードを高さ調節後、ステンレストップとバックガードの隙間をシリコン接着剤でシールコーティングする。

シールコーティングはキャビネット裏側への水の浸入を防ぐための物です。塗布する箇所は高温のため、市販の耐熱150℃以上のシリコン接着剤を使用してください。シールコーティングはシールテープなどでマスキングし、行うと上手く仕上げることができます。

水切りカバー無し時

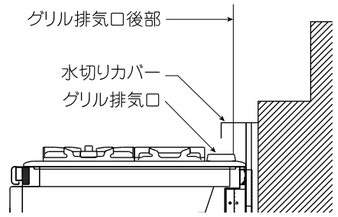


RBO-602F1S　水切りカバー有り設置の場合

⚠ 警 告

■ステンレスの水切りカバー（水返しカバー）などでビルトインコンロのグリル排気口を覆うような設置をしない

水切りカバーをビルトインコンロのグリル排気口上部にかからないように設置してください。

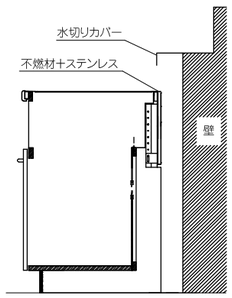


禁止

●バックガード高さを設定、固定する

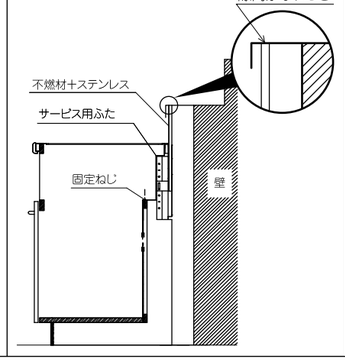
（単位mm）

1.キャビネットの不燃材＋ステンレス部が水切りカバー下側になるようにキャビネットの位置を決める。

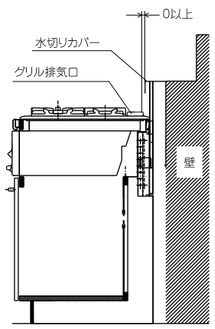


2.不燃材＋ステンレスの上部先端部を水切りカバー裏側に当てた状態で取付けねじ（左右各2本）で固定する。このとき、**水切りカバーと不燃材＋ステンレス上部先端部に隙間が生じないようにとりつけること。**

3.サービス用ふたを取りつける。（固定ねじ3本）



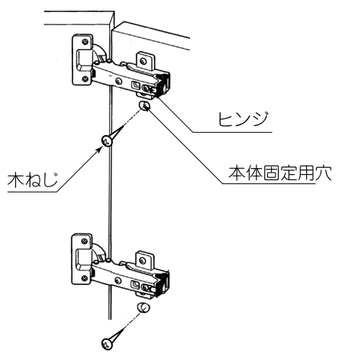
4.キャビネットにビルトインコンロを設置し、キャビネットを壁側に押し込みキャビネットの前後位置出しをする。このとき、水切りカバーがグリル排気口後部にかからないように設置すること。（0以上を確保する）



＊ビルトインコンロの組込み方法についてはビルトインコンロの設置工事説明書に従い行ってください。

④キャビネット本体を付属の木ねじ2本を使用し、既設キャビネットに固定する。

キャビネットとびらを開き、キャビネット側のヒンジ下部の本体固定用穴に木ねじ（L＝25mm）を差し入れてから締込み、キャビネット本体を固定してください。



工事編

安全上のご注意

機器を安全に正しく設置工事していただくためや、設置工事作業者や使用者への危害と財産への損害を未然に防止するためにこの説明書では、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が障害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

●絵表示には次のような意味があります。

⚠ 一般的な警告・注意　　一般的な禁止　　必ず行う

⚠ 警 告

■設置工事は必ず、この「取扱説明書」とビルトインコンロ側の「設置工事説明書」と「ガス機器の設置基準及び実務指針」（日本ガス機器検査協会刊）に従う

変則的な設置工事をすると事故や火災の原因になります。

確認

■工事終了後は、この「取扱説明書」とビルトインコンロ側の「設置工事説明書」・「取扱説明書」をいっしょにして必ずお客様にお渡しする

確認

⚠ 警 告

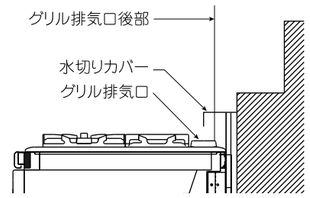
■ビルトインコンロ機器上方周囲は可燃物と規定の離隔距離を確保する

火災予防条例に定められています。必ず守ってください。
離隔距離についてはビルトインコンロの工事説明書に従ってください。

確認

■ステンレスの水切りカバー（水返しカバー）などでビルトインコンロのグリル排気口を覆うような設置をしない

水切りカバーをビルトインコンロのグリル排気口上部にかからないように設置してください。ビルトインコンロのコンロやグリルの排気が水切りカバー裏側に流れ込み水切りカバー固定部の可燃性の壁などが炭化し、火災になることが有ります。



禁止

⚠ 注 意

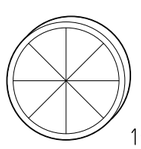
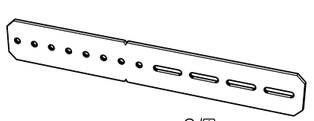
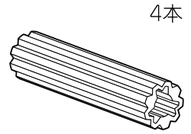
■ 設置場所を決めるときは、お客様とよく相談する
■ 水平で安定した場所に設置する
■ 車両・船舶には設置しない
■ 設置工事の際は、けがを防止するためにも必ず手袋を使用する

確認

お 願 い

● 水のかかる所には設置しないでください。
● 本体をタイルやモルタルなどで塗り込まないでください。

付 属 品 の 確 認

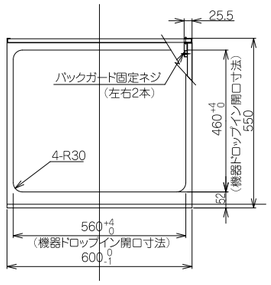
配管シールパッキン	転倒防止固定金具	木ねじ	樹脂製プラグ
 1個	 2個	● 長さ12mm･･･4本 ● 長さ25mm･･･2本 ● 長さ45mm･･･4本	 4本

外形寸法図

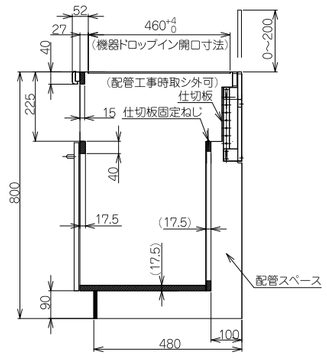
水切りカバーの有無によってバックガードの材質が異なります。

（単位mm）

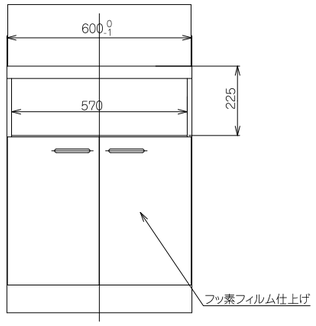
RBO-601F1S	水切りカバー無の場合	ステンレス製
RBO-602F1S	水切りカバー有の場合	不燃材＋ステンレス製



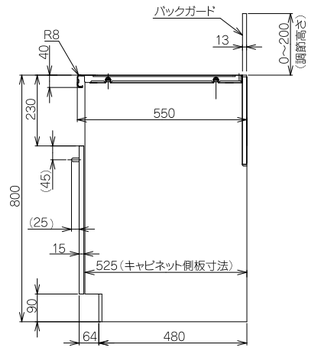
＜平面図＞



＜側断面図＞



＜正面図＞

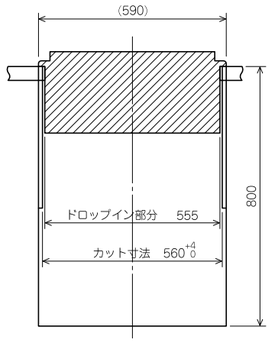


＜側面図＞

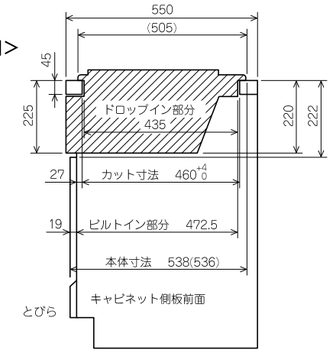
ビルトインコンロ設置図

（単位mm）

＜正面図＞



＜側面図＞

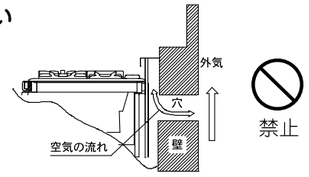


設置場所の確認

⚠ 警 告

■キャビネット背面に外気とつながる穴がある場所に設置をしない

外気の影響によって異常な空気の流れが起こるため、機器内に炎がもぐり込んだり、キャビネット背面に排気が流れ込んだりして機器の損傷や可燃性の壁などが炭化し、火災になることがあります。
外気とつながる穴がある場合は、ベニア板などで必ず穴をふさいでください。



⚠ 注 意

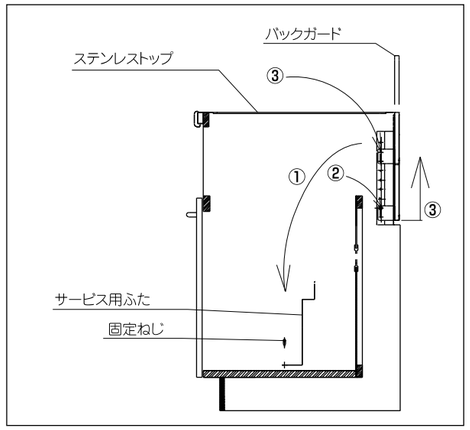
■設置場所の確認やガス配管工事・電気配線工事はビルトインコンロの設置工事説明書に従い行う

設置作業手順

●バックガードの高さ調節方法

＊バックガードの高さはワークトップ面から上方に0～200mmの間で調整できます。

＊バックガードの高さ調節はビルトインコンロをキャビネットに設置する前に行ってください。



●手順

①サービス用ふたを取りはずす。

固定ねじ（3本）をはずし、サービス用ふたをキャビネット底に置いてください。

②バックガード固定ねじをはずす。

キャビネット後方側面内側（左右）のバックガードが固定ねじ（左右各2本）をはずします。

③バックガードの高さを設定する。固定ねじを取付ける。

バックガードを設定位置まで持ち上げ、はずしたバックガードを固定ねじ（左右各2本）で固定します。

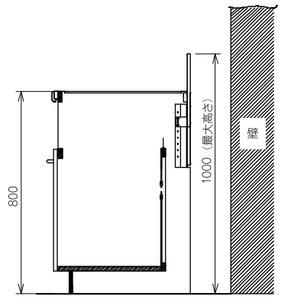
＊既設キッチンのワークトップ上部につけられている水切りカバーの有無によってキャビネットが異なります。
水切りカバー無し・水切りカバー有り設置の場合に従って設置工事を行ってください。

RBO-601F1S　水切りカバー無しの場合

●バックガードの高さ設定、ビルトインコンロを組込む

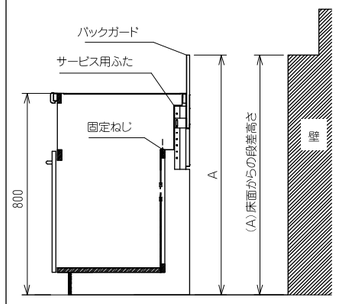
（単位mm）

1.機器後方の壁に床面から1000mm以下の高さで段差が無い場合はバックガード高さを上限の1000mm高さにし、バックガード取付けねじ（左右各2本）で固定する。



2.機器後方の壁に床面から1000mm以下で段差が有る場合はバックガード高さを段差高さに合わせてバックガード取付けねじ（左右各2本）で固定する。（最大A寸法1000mm）

3.サービス用ふたを取りつける。
（固定ねじ3本）



4.キャビネットにビルトインコンロを設置し、キャビネットを壁側に押し込みキャビネットの前後位置出しをする。